

議 事 録

目 的	第5回尾鷲市総合計画審議会 部会協議
-----	--------------------

日 時	平成28年9月30日(金) 19:00~19:45
-----	---------------------------

場 所	中央公民館3階 中会議室
-----	--------------

部 会 名	第6部会
-------	------

内 容	<p>○出席者 委員：奥村玲子委員、津村淳委員、濱野薫久委員、松井純委員 市：総務課：下村課長、税務課：吉沢課長、財政課：浜田係長、市長公室：中川係長</p> <p>○主な協議等内容</p> <p>委員：611~616までこういう表現の方がいいんじゃないかということを考えてきましたので、皆さんの意見も聞きたいと思います。</p> <p>◆611 計画的な行政運営について 委員：100ページの現状と課題①の1~2行目にかけて、将来都市像に「近づくことができたか」の「近づくことができたか」を「向かって進んでいるか」に変えて、その先の、「必要であり、」を「必要である。そこで、」を加える。という表現でどうでしょう。もう一度読み直します。将来都市像に近づくことができたかなどを把握することが必要である。そこで、市ではと続きます。いかがでしょうか。</p> <p>他委員：意義なし</p> <p>委員：現状と課題②の、整合性を図るの「性」をとります。いかがでしょうか。</p> <p>他委員：意義なし</p> <p>◆612 健全な財政運営について</p> <p>委員：102ページの施策の目的の5年後をめざす姿で、下段のところの「安定した財政運営がされているまち」を「財政運営が安定しているまち」に変えたいがどうでしょうか。</p> <p>他委員：意義なし</p> <p>委員：現状と課題①の○の2つめの真ん中ぐらいの労働力人口という表現がおかしい。「労働力」にするか「労働人口」にするかどちらかだと思いが。いかがでしょうか。</p> <p>委員：労働人口の方は良い。</p> <p>委員：労働人口でいきましょうか。</p>
-----	---

他委員：意義なし

委員：103ページの方針①の○の2つめ、最後の方の「市民と」をとる。ってというのは、最初に「市は、市民に」と市民という言葉使っているので必要ないと思うが、どうでしょう。もう一度読み直します。市は、市民に関心を持っていただくために、わかりやすい財政情報の公表により、情報の共有化を図ります。いかがですか。

他委員：意義なし

◆613 行財政改革の推進について

委員：104ページの現状と課題③のところ、定員適正化計画とあるが、105ページの方針③のところは、尾鷲市定員適正化計画とあるので、現状と課題③のところでも「尾鷲市」をつけ加えた方が良いと思うか、いかがでしょうか。

他委員：意義なし

委員：104ページの下段の紫色のところ、1行目に「必要はあるため」2～3行目にも「重要であるため」と「ため」が続くので、1行目は、「必要である。それには、」という表現にしたらどうでしょうか。もう一度読み直します。行財政改革の推進は、地域社会の理解のうえに立って進めていく必要がある。それには、行財政改革実施計画の進捗状況を把握するとともに、公共サービスの質の維持・確保という視点も重要であるため、市民協働型のまちづくり事業とも緊密な連携を取って進める必要があります。いかがでしょうか。

他委員：意義なし

◆614 適正な賦課と公平な税負担について

委員：106ページの現状と課題①のところで、先ほども修正しましたが、労働力人口の「力」をとり。労働人口にするというふうでよろしいですが。

他委員：意義なし。

委員：中絶の紫色の表現なんですけど、1行目の真ん中ぐらいの課税の精度の課税とう表現はおかしいんじゃないか。徴収か収納の表現の方がいいんじゃないかと思うが。

吉沢課長：賦課・徴収事業について記載しているものなので、賦課・徴収業務もどちらも記載していただいた方が良いと思うが。

委員：それでは、「公正・公平な課税を実現のため、正確な課税を目指し、徴収体制の強化に努める。」でどうでしょうか。

吉沢課長：タイトルになっている税負担という言葉を使って、「徴収体制の強化に努め、公正・公平な税負担を実現することが必要です。」でどうでしょうか。

委員：いいですね。皆さんどうでしょう。

他委員：意義なし。

委員：表が見にくい。右のページも余白あるし、右軸・左軸で2つ載せてもいいし、縦長になるけど1つにしてもいいし、少し考えてください。

中川係長：考えさせていただきます。

◆615 広域・外部連携の推進について

委員：108 ページの現状と課題①の○の3つ目の「三重大学をはじめとした産学官連携を図っています。」をはじめとしたと産学官連携の間に、「外部組織・団体と」をつけ加えます。読み直します。市では、三重大学をはじめとした外部組織・団体と産学官連携を図っています。いかがでしょうか。

他委員：意義なし

委員：中断の紫色の、1行目の真ん中ぐらいの「広域的なメリット」を「広域化するメリット」にした方が良くと思いますが、いかがでしょうか。

他委員：意義なし

委員：109 ページの方針①の○の3つ目、「広域ごみ処理施設の実施に向けて」とあるが、実施という表現はそぐわないような気がする。稼働とかそこらへんで良い言葉はありませんか。

委員：確認ですが、これは今から実施していく事業ですよ。

下村課長：そのとおりです。

委員：実現という言葉はどうか。

委員：「広域ごみ処理事業の実現に向けて」でどうでしょうか。読み直します。市は、東紀州5市町での広域ごみ処理事業の実現に向けて取り組みます。いかがでしょうか。

他委員：意義なし

委員：続いて、方針①の4つ目のところですが、1行目の最後の方の、「広域な取り組みが効率的かつ効果的な事業については、」を消して、積極的に広域化を働きかけ、の後に「効率的、効果的に事業を」を付け加えた表現の方がいいんじゃないかと思うが。もう一度読み直します。市は三重県による南部地域活性化プログラムや、東紀州地域振興公社の取り組みなどを活用し、積極的に広域化を働きかけ効率的、効果的に事業を推進していきます。でどうでしょうか。

他委員：意義なし。

◆616 新しいひとの流れの創出について

委員：現状と課題①の○の2つ目、3行目「課題をミッションとし」を「課題の」に変えたい。読み直します。途中からですいません。「地域が抱える課題の解決策を考えるプログラム「尾鷲高校まちいく」を実施しています。」でどうでしょうか。

他委員：意義なし

委員：111 ページの方針①の○2つ目で、「市は」を「市民は」に変え、その後の「持たせ」を「持ち、」に変え、定住の前に、市は若年層に対しを付け加え、定住・移住の移住を消します。読み直します。市民は、地域への愛着や誇りをもち、市は、若年層に対し定住を考えてもらうきっかけづくりを推進します。みなさんどうでしょうか。

他委員：意義なし

◆その他

委員：これで、一様一通りの議論は終了しました。その他何でもかまいませんので、何かご意見ありますか。

浜田係長：103 ページの図表のH27 が抜けています。

委員：それに関連して、図表の年号が統一されていない。平成もあるしHもあるし西暦もある。

委員：これは、統一した方がいいんじゃないか。

中川係長：検討させていただきます。

委員：他にございませんか。なければ、これで第6 部会を終了します。ありがとうございました。

以上